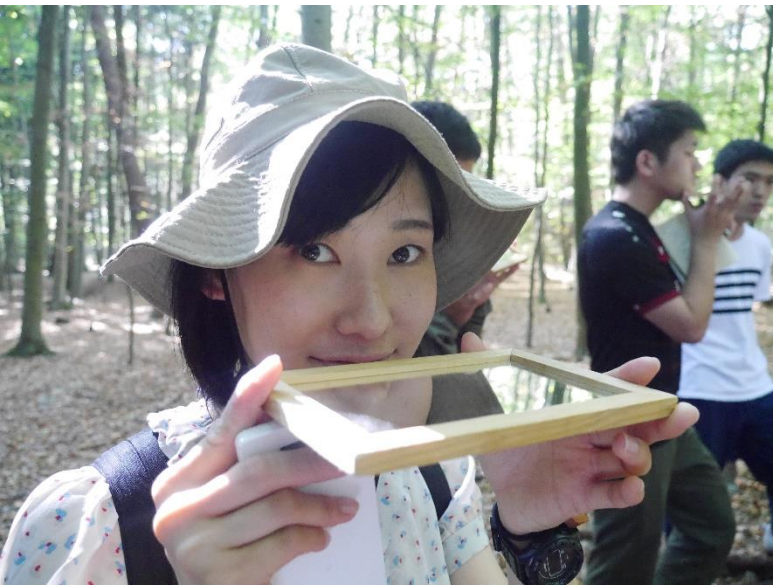




ドイツにおける 新しい森林利用



森林浴【Wellness Forest Project】

◎入林権

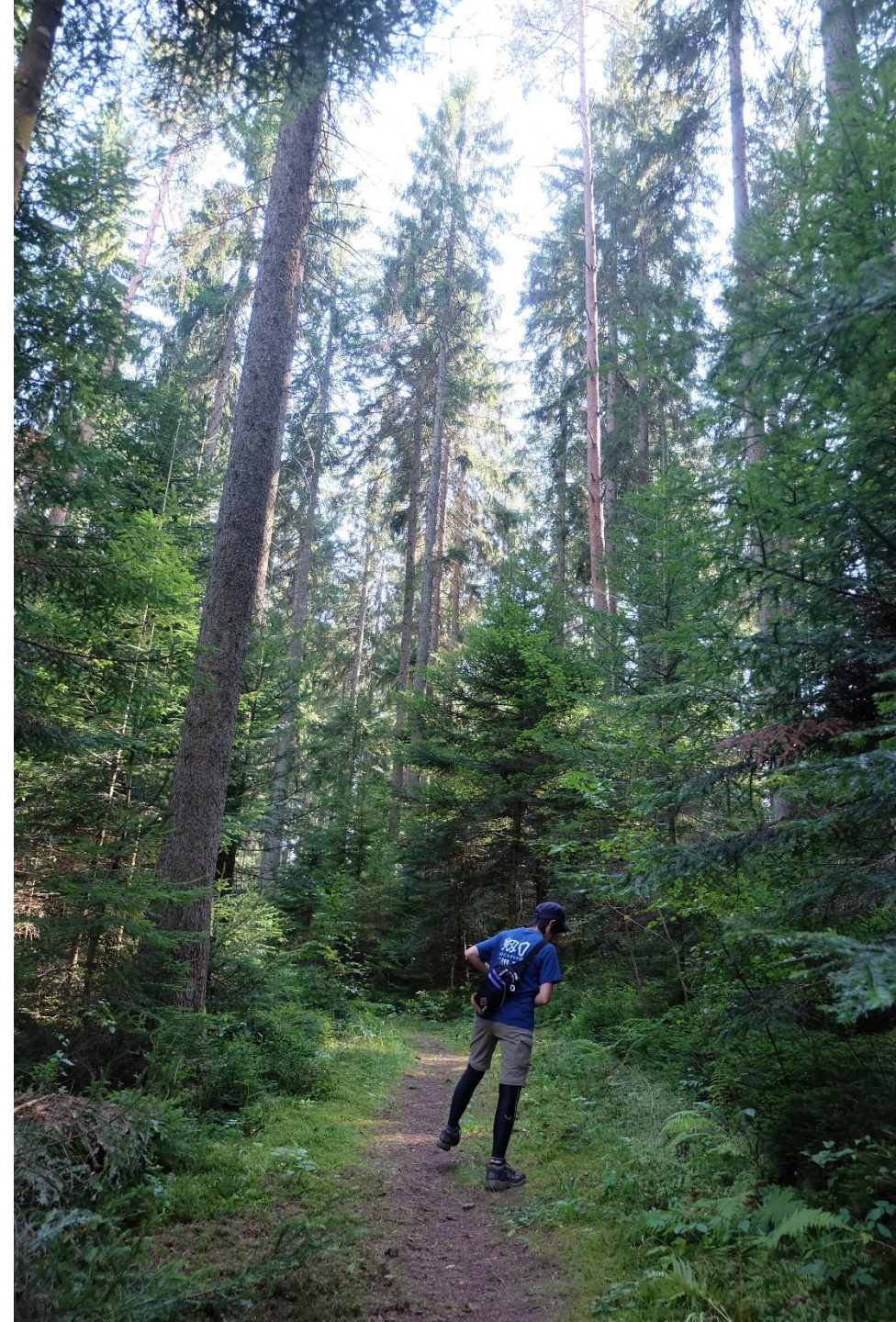
特定の場所以外なら、民有林や州有林に自由に入山し、散歩、ハイキングなどができる



森林への関心が高い

森林浴は...

子供が遊んだり、ランニングしたりするのではなく、瞑想したり自分を見つめる場所として森林を整備・提供する。



広場(中心部)



4種類の素材(石、砂岩、レンガ、木)

→ 素材を肌で感じることができる

広場からは...



ただ歩道を整備するだけでなく、
自然を感じる工夫がされているよ



↑ハンモック

卵型のイス→



特別な森林ではない

資金源はEUと地元の住人



新しい試みに積極的・協力的



森林レクリエーション

4日目



人と森と調和



自然との一体感

人と人の調和・つながり

鏡の中の森





違和感



不思議

違って見える森の姿

ファイ

樹木とのふれあい



信頼関係



個性の発見

環境教育の意味

日本→動植物の種類などの知識
外部を知ること

ドイツ→+自分や他者の内面を知る手段

STADT WALD HAUS (森林公園 in フランクフルト)

多様な森林利用

- レクリエーション・保養地としての森
…ガイドツアーの実施
- 野生動物の住環境
- 木材生産



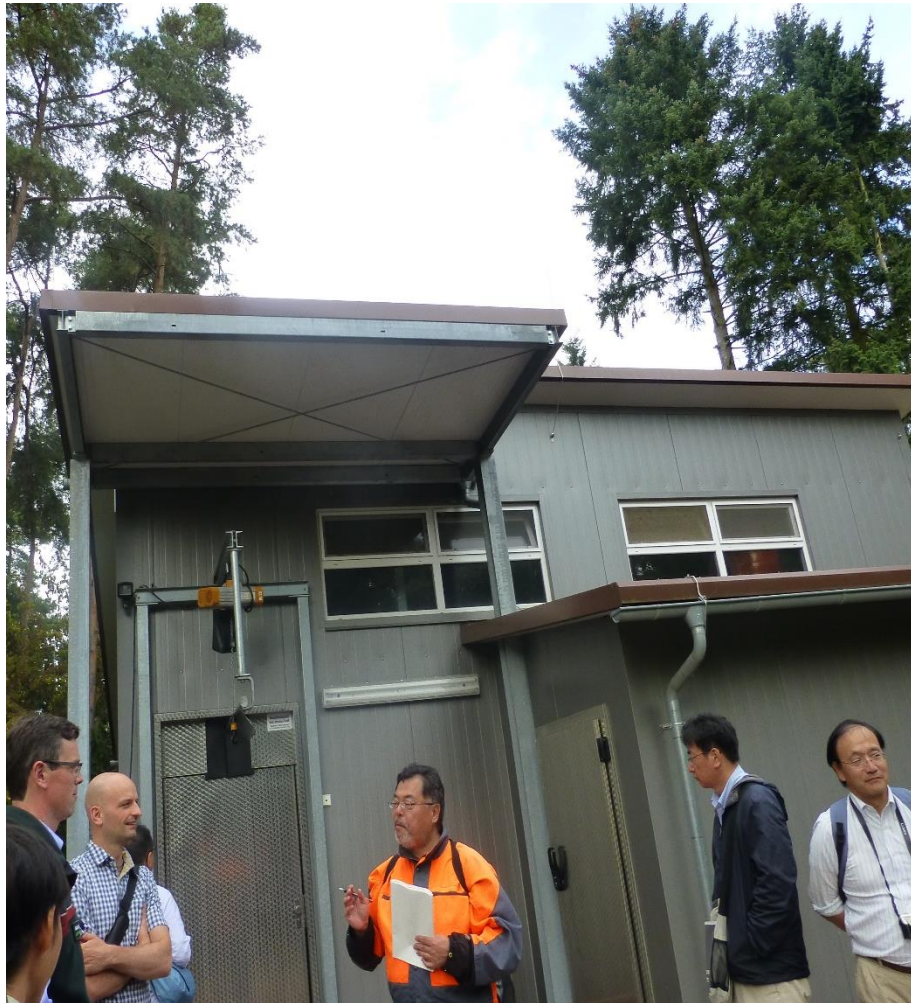
レクリエーション・保養地としての森

- 人の利用目的に応じて森を区分
 - …人の移動・利用場所のコントロール
- 安全管理や清掃への配慮

みんなが気持ちよく、楽しく、利用できる！



捕殺場・冷蔵庫



シカとイノシシを保管
狩猟の他、シカの養殖も

肉はソーセージに加工

シカ肉やイノシシ肉が
一般的に食されている

動物に配慮したエリア

柵とネットで囲まれた区画

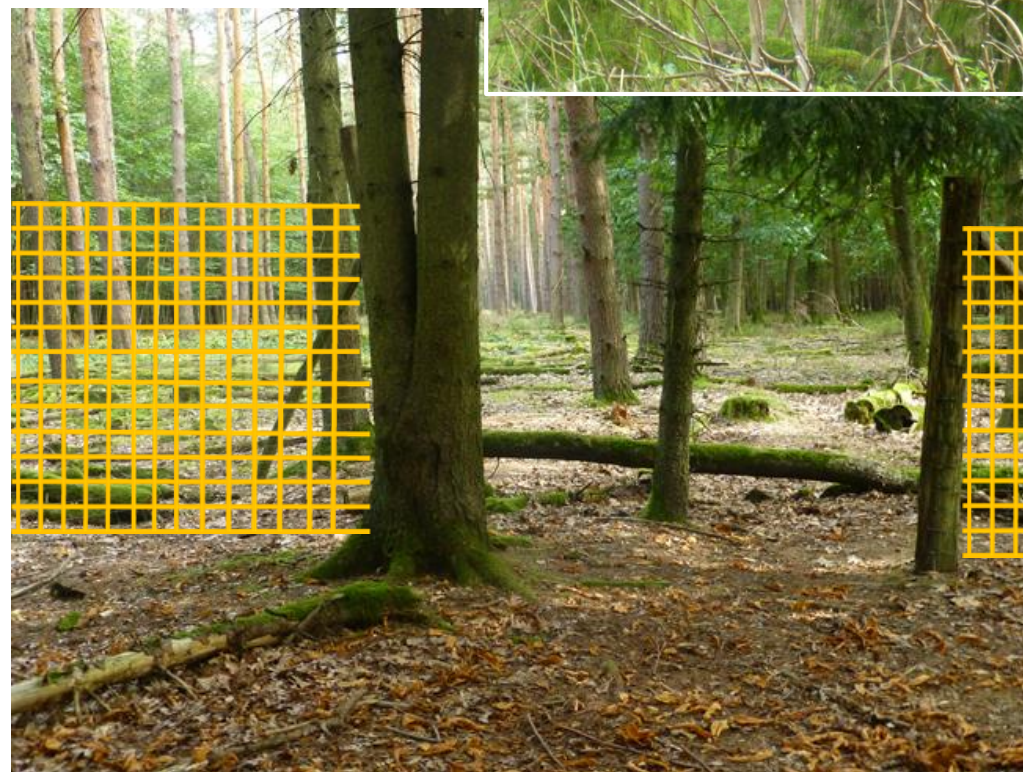
人の出入りは×

シカと人との距離を保つ

シカによる被害も受け入れ

個体数管理をしながら

野生動物がいる環境を大事にしている。



木材生産の森

- PEFC、FSCにより認証された森
- 3300m³/年 の木材を生産
家具材、製紙用チップなど
- 利用者の目^{⑥⑥}に配慮した木材生産



樹木葬

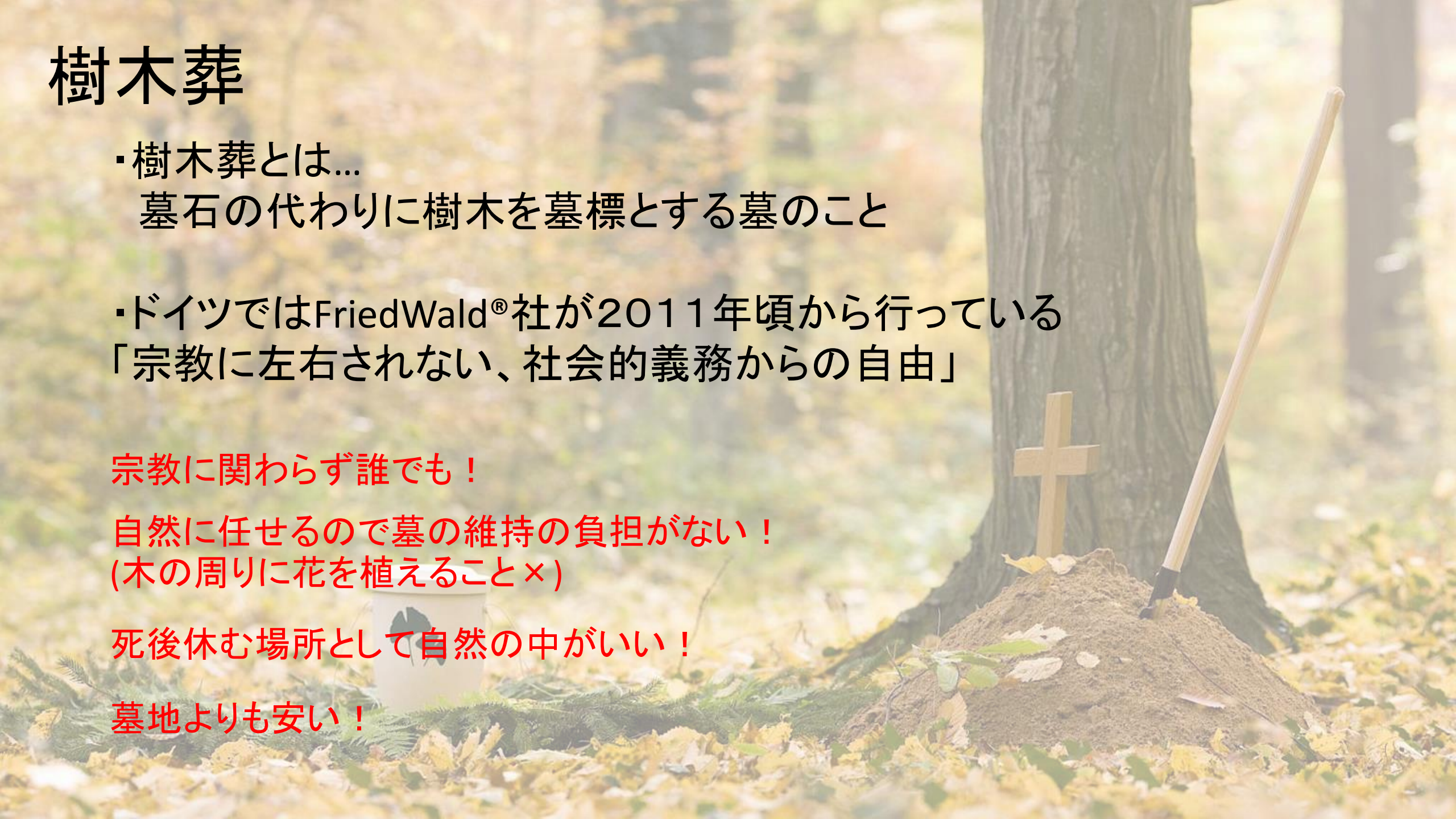
- ・樹木葬とは...
墓石の代わりに樹木を墓標とする墓のこと
- ・ドイツではFriedWald®社が2011年頃から行っている
「宗教に左右されない、社会的義務からの自由」

宗教に関わらず誰でも！

自然に任せるので墓の維持の負担がない！
(木の周りに花を植えること×)

死後休む場所として自然の中がいい！

墓地よりも安い！



見学した森は・・・

1999年ストームで木が倒れたため生産を諦める
山の上で景色がよい
大きな都市から近い

→樹木葬に利用しよう

犬の散歩や乗馬、ピクニックなどに多くの人が日常的に利用している

→見た目は普通の森だけど...



←説経を受ける場所。



←木にプレートを付けGPSで管理している
1本の樹木に最大10人まで
家族や友達と一緒に入ることができる
生きているうちにどの木の下に埋葬されたいか決める



見晴らしが良いところがいい！
大きくて立派な木がいい！



←生分解性の骨壺
土に還るものなら手向けのものと一緒に入れることができる
埋葬時の儀式は特に決められていないので自由に行ってOK

ドイツではまだ樹木葬は1%に満たないが、
これから広まっていくのではないかと

高齢社会の日本でも、樹木葬のメリットは大きいと思う

まとめ

- ・ドイツでの森林に対する関心の高さ
→生活と森林との精神的距離が近い
- ・森から得ようとするモノの違い
- ・日本にそのまま導入することは難しい
ただ、応用して生かせる部分は多い

ご清聴ありがとうございました！

